

【板橋区】

■実施日時：令和4年12月14日（水）13：00～15：00

■実施方法：オンライン開催

■参加部署：

板橋区出席部署・機関		
福祉部	生活支援課	ひきこもり対策担当 自立支援係
	(委託) いたばし生活仕事サポートセンター	
	(委託) 板橋ジョブトレーニングセンター	
	(委託) 板橋区社会福祉協議会	
	障がいサービス課	地域生活支援係
	(委託) 発達障がい者支援センター（あいポート）	
健康生きがい部	予防対策課	管理・精神難病係
	板橋健康福祉センター	保健指導係
	志村健康福祉センター	保健指導係
	高島平健康福祉センター	保健指導係
	おとしより保健福祉センター	特別援護係
教育委員会	指導室	学習支援係 特別支援教育係
	教育支援センター	教育相談係

■実施内容（取組状況の共有・情報交換等）

1 ヒアリングシート（事前回答）に基づく、各部署・機関での取組状況の共有・情報交換

(1) (ひきこもり支援施策企画・調整担当) 生活支援課ひきこもり対策担当

①令和4年度の動き

9月相談窓口明確化のため、ひきこもりに関する相談窓口等をまとめたリーフレット作成。

9～10月「板橋区生活状況に関する調査」を実施。

区のひきこもりの状態にある方の推計数、ひきこもりの期間やきっかけ、支援ニーズ等を調べた。調査は2種類で、標本調査（無作為抽出した15～64歳までの区民5000人）と当事者調査（対象：ひきこもりに関する相談を区立相談機関にしている方100名）調査結果報告書は、現在まとめ中で、年明け1月以降に公表予定。

1～2月 ロジックモデルを活用した「ひきこもり支援施策に係るワークショップ」を開催予定。

②次年度以降の動き

予算要求の現段階では、三つの事業を考えている。

一つ目は、「ひきこもり相談窓口」の開設。支援コーディネーターの配置、支援プランの作成、長期的な目線でのアウトリーチなど。保健、福祉、教育、就労など各機関に繋げていける「核」になるような窓口にしたい。

二つ目は、「当事者居場所づくり」就労準備支援事業「板橋ジョブトレーニングセンター」に家以外の居場所をつくり、仲間づくりの対人交流、講座など。

三つ目は、「ひきこもりに関する理解を深めるための区民向け講座」

2 その他区立機関・事業の取組状況について

(1) いたばし生活仕事サポートセンター（生活困窮者自立相談支援機関）

(2) 健康福祉センター

(3) 予防対策課（ひきこもり家族教室）

(4) 教育支援センター（教育相談）

(5) おとしより保健福祉センター

- (6) 社会福祉協議会（「さーどぶれいす@まもりん坊ハウス」商店街との連携による常設の地域拠点、地域住民の交流や困りごと等の窓口）
- (7) 障がいサービス課（発達障がい者支援センター）

### 3 地域家族会について

板橋区ひきこもり家族会「ひまわり会」が発足し、区共催で「ひまわり会」設立記念講演・ミニ相談会を開催。

### 4 民間団体との連携について

- (1) 「ひきこもり家族教室」の講師を公益社団法人青少年健康センターに依頼。
- (2) NPO 法人青少年自立援助センター：受託「いたばし若者サポートステーション」ひきこもりに関する実態調査の設問構成時にアドバイスなど。

#### ■ひきこもりサポートネットからの情報提供・事例紹介・提案等

- ・当事者会・家族会との連携の重要性
- ・相談窓口で大事な機能
- ・区内の多様な地域資源との連携
- ・サポートネットにおけるピアオンライン相談の紹介

#### ■実施後のひきこもりサポートネットと自治体の連携

- ・「ひきこもり家族教室」の「支援機関の紹介」の回に、講師として参加（年2回程度）